

シリーズ

ひらつかの年中行事 ⑧

節 供 凧

[せっくだこ]

春、南風が強く吹く季節です。戦前まで相模川を航行していた高瀬舟は、塩・米・日用品などの物資を積み、帆に南風を受けて上流の津久井地方へと川を遡りました。

春は凧あげにも絶好の風が吹きます。平塚では長男の生まれた家へ、青年会の若者が初節供に凧を作って贈り、凧あげをする習慣がありました。角凧で、紙に墨で家紋と子供の名前を一字入れた凧でした。大きさは六尺四方、すなわち二畳大が多かったようです。

現在は家紋凧の贈答や凧あげの習慣はほとんど途絶えてしまいました。こうしたなか、昔ながらの凧あげの伝統を継承しているのが昭和50年頃に横内の青年たちが結成した平塚家紋凧保存会です。保存会では毎年5月3～5日に横内公民館周辺の田んぼで凧あげ大会を実施し、地元の家連も訪れ、たくさんの凧が大空に舞いあがります。近年は伝統の家紋凧に加え、武者絵をデザインした凧や変わった形の凧も



増えています。

凧あげはお正月の風物詩と思われがちですが、神奈川県では4、5月に凧をあげました。盛大なのは5月4、5日に相模川河川敷で開催される相模原市と座間市の大凧まつりです。相模原市新戸であげる8間四方(128畳)の



大凧は日本一大きな凧といわれています。県外でも糸切り合戦で有名な静岡県浜松市の喧嘩凧がゴールデンウィークの行事です。変形凧もあり、秦野市はダルマ凧、伊勢原市はアブ凧・セミ凧、茅ヶ崎市には将棋凧があります。

このように神奈川県や東海地方では5月に凧あげをするのが伝統でした。それは凧あげに適した南風が吹くことと五月節供の行事と結びついたためです。天高くあがる家紋凧に子供の健やかな成長と家名が栄えることを願ったのです。

(博物館学芸担当)



平塚海岸を きれいにしよう!

ゴルマン・タジさん

アメリカ、フィラデルフィア市出身。2001年に来日し、在日10年目。平塚の海を愛し、海岸の清掃活動に精力的に取り組んでいます。

2010年10月17日 相模川河口付近

ハワイ・マウイ島に住む友人から聞いてとても驚きました。島の砂浜が大量のプラスチックゴミであふれている、しかもゴミの多くにはハンブル、中国語、日本語の文字が見られるというのです。ゴミが太平洋を数千キロメートルも渡ってきたのです。

家庭ゴミの分別やリサイクル等が優れているはずの日本から、一体どうしてそんなに大量のゴミが海に流されているのでしょうか。理由は川です。台風や大雨の後、水量の増した相模川、花水川で大量のペットボトルなどがまるでベルトコンベアで送られるように海へ流れていき、河口付近の砂浜に打ち上げられています。太平洋に押し流された量は

見当もつきません。それは目に見えているゴミというだけでなく、海中や海底の生物にどれだけ大きな悪影響を与えているのでしょうか。

重要なのはもちろん上流のゴミを減らすことだと思いますが、せめて海岸のゴミを減らしたいという心ある有志によって、川辺や海岸のゴミ拾いイベントが行われています。ゴミ拾いの回数、参加人数が増えること、そして何よりゴミ問題に関心を持つ市民が増える必要を痛感しています。海岸清掃は誰でも簡単に企画できる活動です。平塚の海を、太平洋をそして地球環境を改善していきませんか。

興味のある方は「(財)かながわ海岸美化財団」のホームページをご参照ください。河口、海岸の清掃活動をサポートしており、このサイトで気軽に参加できる近隣の清掃活動を見つけることもできます。

<http://bikazaidan.main.jp/>



ゴミは100袋以上、2トントラックで2台分だった。

平塚市文化振興基金にご協力を!!

平塚市文化振興基金にご寄附をいただいた方
(H22.10月から12月)

(敬称略)

- 水交社の保存と利用をすすめる会 (10.20)
- 匿名 (12.12)
- 平塚市ビルメンテナンス業協同組合 (12.16)
- 竹遊会 (12.28)

発行 平塚市文化・交流課 〒254-0045 平塚市見附町15-1 平塚市民センター内 電話 0463-32-2235 FAX 0463-31-6466

2011年(平成23年)2月15日発行 E-mail bunkoh@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/bunka/index.htm>